認知症かもしれない方と接する３つのポイント



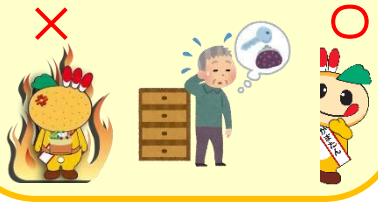
①自尊心を傷つけない！

認知症になっても「嬉しい」とか「嫌だ」などどいった感情を伴う記憶は残っています。また、昔の経験から学んだ記憶は忘れにくいといわれています。「できない」部分だけに目を向けた対応は本人が辛い気持ちになります。その人の感情や人生経験を尊重した対応を心がけましょう！



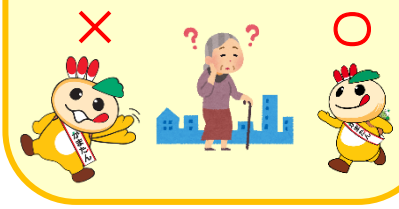
②急がせない！

認知症の人は、せかされたり複数の問いかけに同時に答えることが苦手です。相手の反応を伺いながら、ゆっくり話を聴き、本人のしたいことを確認し行動を見守りましょう！



③驚かせない！

相手の視野に入ったところで話しかけます。早口、大声、甲高い声でまくしたてず、ゆっくりとはっきりした口調で話しかけるように心がけましょう！



耳が遠い方には目的をわかりやすく、大きな字で書いて渡しましょう

具体的な対応の７つのポイント

- まずは見守る
- 余裕を持って対応する
- 後ろから声をかけない
- 声をかける時は一人で
- おだやかにはっきりした話し方で
- 相手に目線を合わせてやさしい口調で
- 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する



見守り応援団にもなって欲しいたん！

チームオレンジ鎌ケ谷

鎌ケ谷市地域包括支援センター

鎌ケ谷市地域包括支援係 ☎445-1384　初富地域包括支援ｾﾝﾀｰ ☎446-7873

西部地域包括支援ｾﾝﾀｰ ☎441-2007　南部地域包括支援ｾﾝﾀｰ ☎441-7370